

“本が好き” “図書館が好き”の思いを活動に……

「葛飾図書館友の会」がスタート

去る6月7日(土)午後、葛飾図書館で「葛飾図書館友の会」の設立総会が開かれました。これまで数回の発起人会がもたれ、会則や活動内容などの検討を行い、発足の運びとなりました。

総会当日は約50名の方々が参加、高木葛飾図書館館長にごあいさつをいただいた後、総会にうつり会則、役員選出、事業計画や委員会活動、予算などの案をもとに質疑応答が交され、ほぼ原案通り可決され、活動の一步を踏み出しました。つぎに発起人の1人であり、副会長に就任された首都大学東京の朝野教授の講演を

受けたあと、総務・事業・広報の各委員会の活動内容が紹介されました。

来年11月の新中央図書館のオープンも控え、「友の会」の役割と今後の活動は大きな意義を持つものと思われます。緩やかな、そして楽しい会を目指す事を確認して、設立総会は終了しました。



総会で議案の説明をする川越会長

本が好き・図書館が好きという方は数多くいらつしゃると思います。ただ、今まではそのような方がたの集う場がありませんでした。今後図書館友の会としてさらにそんな方々が出会い・語り・学びあう場所をつくりだしていきたいと思えます。葛飾の新しい図書館を育てていくために、皆様のご参加をお待ちしています。

平成十六年度より始まった新中央図書館開設懇談会の話し合いの中から、受身ではなく区民として共に図書館を育てていきたいという思いが委員の間で芽生え、この六月に友の会として実を結ぶことになりました。

葛飾図書館友の会
設立に寄せて
会長 川越誠一

= 「友の会」各委員会報告 =

「友の会」発足以降、現在まで開催された各委員会の活動と主な内容です。

事業委員会 目的をもった図書館サービス体験の実施(時期は未定)と、新中央図書館の開館への“プレ・イベント”を来年6月に開催するため、企画・運営を含め今年10月に実行委員会形式で具体的な進め方の検討を開始する。当面、毎月第3土曜日午後に委員会を開く予定。

総務委員会 会員名簿の整備と友の会入会案内の作成、そして会員全員を対象にしたボランティア保険への加入手続きの検討を開始する。原則として役員会開催後1~2週間後に委員会を開催する予定。

広報委員会 「友の会通信」発行のための役割分担を決定し、創刊号の制作と印刷枚数や発送方法などを検討。現時点では年4回(季刊)を原則に、タイムリーな発行を予定。

友の会Q&A



図書館マスコット
「はてなくん」

『葛飾図書館友の会』の会則を中心に、主な内容を説明します。

- Q. 目的は？ A. 葛飾区立図書館でのボランティア活動や学習会・交流会などを通じて、区民のための人づくり・まちづくりとしての図書館であり続けるように守り育て、生涯学習の場として共に学ぶことが主な目的です。
- Q. どんな活動を行うの？ A. 図書館への協力、講演会・学習会・見学会などの開催、会報の発行、他の友の会などとの交流や連携などです。今後予定・企画しているのは「新図書館開館イベント」、図書館の補助活動やサービス体験、読書会・学習会の開催などで、会員相互で実現に向け検討していきます。
- Q. 会員になるためには？ A. 参加し活動する一般会員（年会費は¥1,000）と、企業・団体・個人の賛助会員（年会費は¥2,000）から構成され、入会届けの提出と年会費納入で手続きは完了です（具体的な入会手続きは3ページを参照下さい）。なお、会員の有効期限は翌年3月31日までで、会費の納入をもって継続します。
- Q. どんな委員会があるの？ A. （1）総務や渉外活動を行う「総務委員会」（2）企画・運営を担当する「事業委員会」（3）会報の発行や情報提供を担う「広報委員会」の三つの委員会があります。会員はいずれかの委員会に所属し、できる範囲で活動していきます。特に「事業委員会」が予定しているアイデアは豊富です。
- Q. 総会と役員は？ A. 総会は年1回開催され、会長・副会長などすべての役員の任期は2年で、再任をさまたげないとします。
- Q. 連絡先（問い合わせ先）はどこ？ A. 葛飾図書館の整備担当係（葛飾区新宿3-7-1 電話03-3607-9201）です。
- Q. 入会すると何か特典があるの？ A. 図書館利用上の優遇規定はありません。この会は読書の促進を通して社会のために貢献し、図書館を知りたい、支えたいという愛読者が作る緩やかな集まりで、図書館と“友達”となる事を目指します。なお、個人情報情報は総務委員会が責任をもって管理します。

「友の会」の顔となって

広報委員長 高橋久郎

パソコンが広まって『立ち上がる』という表現がべつな意味を装いました。僕のような古い人間には気味のわるいことばですが、いつのまにかいるな遣いかたに応用され、とくに組織を「立ち上げる」などという、スマートな感じがします。広報委員会は、まさに立ち上がり、活動を開始しました。「友の会」の顔となって多くの人たちに呼びかけ、行動し、語り合い、表現しあい、葛飾図書館に友情の種をまきたいと思えます。

広報委員会のメンバーを紹介しようと、副委員長の中里さん、シャープな感覚に期待して編集を担当していただきました。制作には現在もパソコン講習の指導をしている赤川さん、宇佐見さんに交代で紙面を作っていただくことに。さらに各人お持ちのスキルを伺いましたら、それぞれ編集関係に豊かな経験をもたれていることが判ったので取材・執筆・紙面の構成には全員でかわることを原則にしました。

そして、委員会運営上の（これからどんどん委員が増えるでしょうから）作業を円滑に進めるために、西村さん、林さんに記録を、宮廻さん、原田さんに会計を担当していただくことにしました。これからの楽しみの、広報委員会です。

皆さん よろしく

「葛飾図書館友の会通信」発刊にあたって

広報委員の思い



久し振りに広報誌作りに携わった。ワープロで記事を書き、ファックスで送る“時代遅れ”のアナログ人間。しかしスタッフはパソコンを駆使し、紙面作りをされるベテランの方々ばかりで、ひと安心。「友の会」の企画も盛り沢山のようなので、そのバラエティの豊富さをお伝え出来るかどうか？自信がありませんが、精一杯努力して、読みやすい、そして期待されるような「友の会通信」を発行していければと思います。

(R N)

はじめまして！ 先日の広報委員会、何しろ殆ど未経験ですので、お断りしようか、どうしようかと迷った末、これも何かの縁？とそのままメンバーになってしまいました。そんな私ですので、皆様の足をひっぱらない様、一步一步付いてゆきたいと思っております。“次号も楽しみ”と思えるような、「友の会通信」をめざして。どうぞよろしくお願いいたします。

宮廻

小さな子供たちを相手に、お話や紙芝居、本の読み聞かせなどを通して図書館に繋がっていた私が、葛飾図書館友の会の会員として活動する場をえられたことは、また一つの世界の窓が開いたように感じています。
脳細胞は年齢に関係なく、使えば使うほど活発に再生すると聞きました。ちよつと無理かなと思うものにも、皆さんの足をひっぱらない程度に頑張らせていただいで、新しい世界を楽しみたいと思います。

原田 匡子



休み時間は図書室で過ごす子供でした。学級新聞係の仕事もなかなか好きでした。遠い昔の二つの関心事が再びドッキングとは思いがけなくも心躍る事態。それにしても、版下はすべて手書き、インク染みの手でローラーを握った頃から、ワープロ、PC、コピーを駆使の時代まで、「思えば遠くへ来たもんだ」。本の虫は今も変わりません。微力ですが楽しい広報を作る「猫の手」ほどもなれば幸せです

林 ナオミ

「今年の夏は蚊が出ないね」それほど下水道が完備したのだらうか。蚊やセミも気温が高すぎると活動が鈍るのかな。金町駅前立つ葛飾一番の高層ビルも完成に向かって着々と工事が進み巨大な建物が現れた。最上階より眺めた葛飾の景色はいかばかりか。我々広報スタッフも創刊号発刊に忙しく作業しています。ご期待請う？

(HOU)

夏になるとラヴェルやドビッシーが恋しく魂を奪われる。涼をとった部屋で楽の音に耳を傾けながら、お気に入りの本のページを繰る愉悦。音楽に陶然とし、テキストを読む快樂に身を委ねる。傍らに冷たいエードでもあれば尚の事、至福！ 書籍もCDも図書館に揃い、お越しを待っている。求めている資料が区内になくとも取り寄せ可。「退屈だ」とひとりごちているあなた。図書館に見参してみても如何でしょうか？

(KN)

江戸城を中心に、東西南北にひろがるまちなみを東京というんですね。昔のなつかしい町名のほとんどが消え、なつかしい区名も変わって、個性のないふるさとです。しかし葛飾という区名はすばらしい。世界で最も知られている日本人、葛飾北斎の姓だからです。

北斎のぼう大な驚嘆すべき作品群を集め、『大北斎・葛飾ミュージアム』をつくり、来る東京オリンピックで世界中から集まる人に見せたい。浮世絵の真髄を映像と音響で展開する、そういうアイデアです。

(高橋)

友の会設立総会のお知らせ資料に、「考える力・創造する力・表現する力のベースになるのは読書です」と、うたっています。

来年、金町に新中央図書館が新しくオープンするのに先駆けて「葛飾図書館友の会」が既に発足しました。皆様の期待を寄せる「友の会」は文化的サロンとして区民のための人づくり街づくりや生涯学習の場であって欲しい。広報委員会の一委員として少しでも貢献できたらと思います。

(SU)

竹内 啓・柳井晴夫著 『多変量解析の基礎』

東洋経済新報社 1972年

線形空間への射影というすっきりした概念で多変量解析を解き明かした本です。この分野での日本の研究水準を世界レベルに高めた金字塔と評されています。この本がきっかけで、当時若者だった私はアカデミックの世界に進むことになりました。初版には数式展開や記号の誤植がたくさんありました。ミスを訂正しながら精読することはとても楽しいものです。あいまいさが無く明瞭に書かれた本だからこそ間違いにも気づくのです。「信じて憶える」のではなく「考えて疑う」ことは研究の第1歩です。後日談ですが、校正モレの件を著者に伝えたら感謝してもらえました。理数系の先生はあっさりしていて、沽券にかかわるなどと立腹しない人が多いのです（例外もありますので要注意）

精神の糧となる本、人生を後押ししてくれる本は一人一人違って当然です。ですから上記の本に限らず、1冊でも心から感謝できる本にめぐり合えることは人生の幸せだといえましょう。



（首都大学東京大学院教授、葛飾図書館友の会副会長 あさのひろひこ 朝野熙彦）

「葛飾図書館友の会」で一緒に活動してみませんか！

= 入会のご案内とその手続き =

「友の会」は多くの会員によって活動していきたいと思っています。それには財政的な裏付けが必要です。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々に、是非入会していただき、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？

入会にあたっては「葛飾図書館友の会」会則をご覧ください、葛飾図書館の整備担当係に入会届けをご提出の上、年会費(一般会員 1,000 円、賛助会員一口 2,000 円)を下記の口座へ納入して下さい。

なお、葛飾図書館での年会費の直接納入はできません。年会費の納入振替口座は下記の通りです。



ゆうちょ銀行

口座番号 00100-7-392065

口座名称 葛飾図書館友の会

「通信欄」には一般あるいは賛助会員の否かを明記の上、20年度年会費とご記入下さい。振替手数料は銀行窓口では120円、ATMからでは80円です。恐れ入りますがご負担をお願いいたします。

問い合わせ・連絡先は下記の通りです。

葛飾図書館整備担当係（吉村さん、清水さん） 03-3607-9201

多くの皆様のご加入をお待ちしています。